

第34回泌尿器科漢方研究会学術集会

会長： 笠善行(香川大学医学部泌尿器科学教室)

会期： 2017/6/17 ～ 会場： コクヨホール(東京都)

一般講演 I**座長：原三信病院 武井 実根雄****3. 高齢女性膀胱炎症状に対する猪苓湯
または猪苓湯合四物湯の効果について**独立行政法人国立病院機構神戸医療センター 泌尿器科
大岡 均至

【目的】高齢女性の急性単純性膀胱炎に対する、CPDX-PR 単独投与に加え猪苓湯、または猪苓湯合四物湯投与の臨床効果を検討する。

【対象と方法】同意を得た150症例を以下の3群に振り分けた。1) ; CPDX-PR100mg、朝・夕2回、1週間投与 (A)、2) ; Aに加え猪苓湯4週間投与 (B)、3) ; Aに加え猪苓湯合四物湯4週間投与 (C)。検討項目は培養(初診時)、治療開始前、1・4・8週間後の自覚症状の変化(頻尿、尿意切迫感、排尿時痛等)と他覚所見(検尿所見、血虚スコア、Hb.)。

【結果】全菌株がCPDX-PRに感受性で、3群間の自覚症状、他覚所見の推移に有意差は認めなかった。自覚症状改善率では、1週後；88.0%，82.0%，96.0% (A, B, C, A vs. C : p=0.0001)、4週後；98.0%，100.0%，100.0%、8週後；80.0%，76.0%，92.0% (A vs. C : p=0.0024)、他覚所見改善率は、1週後；76.0%，82.0%，88.0% (A vs. C : p=0.0049)、4週後；82.0%，86.0%，94.0%、8週後；76.0%，76.0%，86.0% (A vs. C : p=0.0024)。血虚スコアの変化は群間で有意(p=0.0001)、治療前に血虚スコア30点以上の症例は42.0%，38.0%，64.0%、8週間後は22.0%，24.0%，6.0% (chi square ; A vs. C ; p=0.043, Odds; 4.42, B vs. C ; p=0.025, Odds ; 4.95)。Hbの変化は群間で有意(p=0.0001)、8週後Hbが改善した症例は44.0%，50.0%，90.0% (chi square ; A vs. C ; p<0.0001, Odds ; 11.45, B vs. C ; p=0.0001, Odds ; 9.00) であった。

【考察】抗菌薬単独投与と比して特に猪苓湯合四物湯の急性期の併用効果、血虚やHbの改善効果、急性膀胱炎後の再発防止効果等が示された。他方、猪苓湯ではその効果が認められなかった。両方剤の使用目標を区別し、適切に処方すべきである。